

平成 21 年度 障害者総合相談等実施状況（平成 22 年 1 月末現在）

1 ケアマネジメント事業実施状況（各区障害高齢課及び専門相談機関）

ここでは、ケアマネジメント手法による支援を行っている利用者数は除いている。

但し今年度、指標例として提案があったものとして、アーチルにおける my サポートファイル「アイル」を活用した移行支援件数を表外に記す。

| | 青葉区 | 宮城野区 | 若林区 | 太白区 | 泉区 | 更生 相談所 | アーチル | はあと ぽーと | 合計 |
|----------------|-----|------|-----|-----|----|-----------|------|------------|-----|
| 平成 21 年度当初利用者数 | 3 | 28 | 7 | 16 | 8 | 7 | 32 | 9 | 110 |
| 平成 21 年度新規利用者数 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | 10 |
| 平成 21 年度終了者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 6 |
| 平成 21 年度実利用者数 | 3 | 28 | 7 | 24 | 8 | 7 | 32 | 5 | 114 |

「アイル」活用支援 総数 84

内訳 乳幼児 79（初期療育⇒通園施設）

学齢児 3（小学校⇒中学校）

成人 2（特支学校⇒A型通園，
地活C⇒就職活動）

2 ケア会議実施状況（各区障害高齢課及び専門相談機関）

ここでは、行政側実施分のみを計上している。

| | 青葉区 | 宮城野区 | 若林区 | 太白区 | 泉区 | 更生 相談所 | アーチル | はあと ぽーと | 合計 |
|---------------|-----|------|-----|-----|----|-----------|------|------------|-----|
| 開催延回数 | 106 | 49 | 94 | 213 | 79 | 25 | 65 | 15 | 646 |
| うちケアマネジメント利用者 | 1 | 1 | 0 | 34 | 1 | 9 | 0 | 15 | 61 |
| 本年度実人員 | 75 | 39 | 1 | 110 | 57 | 13 | 50 | 6 | 351 |

3 各区障害者総合相談実施状況

来所・電話相談件数

| | 青葉区 | | 宮城野区 | | 若林区 | | 太白区 | | 泉区 | | 合計 | | |
|-------|-----|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
| | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 計 |
| 身体障害者 | 14 | 12 | 43 | 129 | 410 | 592 | 22 | 24 | 482 | 202 | 971 | 959 | 1,930 |
| 知的障害者 | 5 | 19 | 142 | 183 | 529 | 722 | 42 | 17 | 157 | 205 | 875 | 1,146 | 2,021 |
| 精神障害者 | 452 | 846 | 436 | 968 | 324 | 559 | 286 | 252 | 285 | 373 | 1,783 | 2,998 | 4,781 |
| 難病患者 | 43 | 50 | 13 | 7 | 37 | 75 | 1 | 2 | 21 | 40 | 115 | 174 | 289 |
| 重複障害者 | 34 | 52 | 36 | 39 | 69 | 90 | 33 | 12 | 58 | 24 | 230 | 217 | 447 |
| その他 | 0 | 1 | 17 | 12 | 29 | 10 | 3 | 2 | 7 | 16 | 56 | 41 | 97 |
| 不明 | 23 | 57 | 2 | 2 | 1 | 40 | 1 | 0 | 0 | 0 | 27 | 99 | 126 |
| 合計 | 571 | 1,037 | 689 | 1,340 | 1,399 | 2,088 | 388 | 309 | 1,010 | 860 | 4,057 | 5,634 | 9,691 |

訪問相談件数

| | 青葉区 | 宮城野区 | 若林区 | 太白区 | 泉区 | 合計 |
|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|
| 身体障害者 | 49 | 76 | 22 | 95 | 87 | 329 |
| 知的障害者 | 8 | 57 | 70 | 44 | 94 | 273 |
| 精神障害者 | 210 | 443 | 370 | 724 | 331 | 2,078 |
| 難病患者 | 27 | 12 | 13 | 22 | 23 | 97 |
| 重複障害者 | 12 | 78 | 61 | 126 | 49 | 326 |
| その他 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 6 |
| 不明 | 5 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 |
| 合計 | 311 | 668 | 537 | 1,014 | 586 | 3,116 |

4 各相談支援事業所における総合相談実施状況

(旧市町村障害者生活支援事業)

| | ハンズ太白 | ハンズ宮城野 | ふらっと泉 | ふらっと青葉 | ぴあら若林 | 計 |
|------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 電話相談 | 3,496 | 1,476 | 1,410 | 1,238 | 1,309 | 8,929 |
| 来所相談 | 771 | 776 | 366 | 420 | 553 | 2,886 |
| 訪問相談 | 350 | 337 | 517 | 334 | 400 | 1,938 |

(旧障害児者地域療育等支援事業)

| | ぴぼっと支倉 | きぼう園 | ピボット若林 | サポートはぎ | ピース・スマイル なのはな | 計 |
|------|--------|------|--------|--------|------------------|-------|
| 電話相談 | 901 | 407 | 441 | 358 | 825 | 2,932 |
| 来所相談 | 100 | 112 | 67 | 46 | 47 | 372 |
| 訪問相談 | 464 | 167 | 461 | 123 | 489 | 1,704 |

(旧精神障害者地域生活支援センター)

| | ほっと すぺーす | 向日葵ライ フサポート センター | ぴあ☆ はうす | てれんこ | ほわっと・ わたげ | ソキウス | +らiふ | 計 |
|------|-------------|------------------------|------------|-------|--------------|-------|------|--------|
| 電話相談 | 13,040 | 1,412 | 5,206 | 3,827 | 2,456 | 2,602 | 867 | 29,410 |
| 来所相談 | 363 | 208 | 335 | 542 | 385 | 523 | 164 | 2,520 |
| 訪問相談 | 336 | 355 | 162 | 166 | 49 | 139 | 40 | 1,247 |

【参考】 障害者相談員の実績 (平成 21 年 12 月末現在) (相談員数 43 名)

| 手帳 | 相談業務 | | | | | | | 小計 | 活動状況 | | | 小計 |
|----|----------|----------|----|----|----|----------|---------|-----|---------|----------|---------|----|
| | 施設 入所 | 補装 具等 | 生活 | 就労 | 住宅 | 近況 確認 | その 他 | | 相談 会 | ケア 会議 | 研修 会 | |
| 17 | 16 | 2 | 40 | 15 | 6 | 80 | 40 | 216 | 74 | 1 | 15 | 90 |

平成21年度 地域生活支援ネットワーク会議 実施状況

平成22年3月 (課名) 青葉区障害高齢課

| | |
|-------------------------|---|
| 区内ネットワークの現状と課題 | ・ 全体会・定例会・分科会・事務局会議を開催。区は全体会とその企画をする事務局会議で協働し定例会には制度の情報提供や講話の調整等に関わる。 |
| ネットワーク会議のねらい | ・ 障害者の生活の質の向上を図るために市民協働の視点に立った支援者間のネットワークを強化し、利用者へのチームアプローチの円滑化を図る・個別支援から把握されたサービス利用上の問題や地域に不足している社会資源の把握を行い、社会資源等の創出に寄与する |
| 今年度の実施目標 | ① 支援関係者の拡大・連携の強化 ② より多くの職種とつながれるようなネットワークの構築 ③ 地域で活用できるサービス等の情報交換 |
| 目標達成のための具体的な取り組みの方向性、戦略 | ・ 全体会開催。日頃支援上の課題と思われることをテーマに広く関係者に呼びかけ、支援者間の研修と交流を行う。参加者の周知については、従来の保健福祉の枠にとらわれず、教育・医療等に広く声がけする。 |
| 事務局体制 | 区内相談支援事業者、区障害高齢課 |
| 実施内容と主な参加機関 | <p>(事務局会議) 毎月定例開催(12回) + 臨時開催(3回)</p> <p>① 4/17 年間計画・役割分担・定例会(4/21)内容確認</p> <p>② 5/7 第1回全体会(6/25)計画・定例会(5/29)内容確認</p> <p>③ 6/4 第1回全体会(6/25)準備</p> <p>④ 6/23 第1回全体会(6/25)準備</p> <p>⑤ 7/2 第1回全体会(6/25)反省・定例会(7/28)内容確認</p> <p>⑥ 8/6 第2回全体会内容検討・5区会議報告・定例会(8/27)の内容確認</p> <p>⑦ 9/4 第2回全体会(10/23)内容検討・定例会(9/24)の内容確認</p> <p>⑧ 10/1 年度後半の活動に向けての意見交換</p> <p>⑨ 10/19 第2回全体会(10/23)準備・ネットワーク連絡会へ向けて・青葉区の課題整理</p> <p>⑩ 11/5 第2回全体会(10/23)の反省・定例会(11/26)内容検討</p> <p>⑪ 12/3 先進地視察について</p> <p>⑫ 1/7 自立支援協議会との関係について・今後に向けての意見交換</p> <p>⑬ 1/13 第3回全体会内容検討・定例会(1/28)の内容確認</p> <p>⑭ 2/4 第3回全体会(3/4)準備・先進地視察について</p> <p>⑮ 3/11 第3回全体会(3/4)反省・今年度の活動の振り返りと次年度に向けて</p> <p>(定例会) 月1回 8回開催</p> <p>① 4/21 13機関 15名参加 年間計画の確認</p> <p>② 5/29 9機関 14名参加 知的障害のある児童・家庭への支援について</p> <p>③ 7/28 11機関 14名参加 地域包括支援センターについて</p> <p>④ 8/27 9機関 14名参加 さまざまな支援が必要な家族への支援について</p> <p>⑤ 9/29 8機関 9名参加 退院促進の支援について</p> <p>⑥ 11/26 9機関 11名参加 精神障害を持つ人と家族への支援について</p> <p>⑦ 1/28 8機関 11名参加 障害児を持つ家庭への支援について</p> <p>⑧ 3/25 機関 名参加 今年度の振り返りと次年度へ向けて</p> <p>(ネットワーク会議全体会) 3回開催 開催場所：福祉プラザ</p> <p>① 第1回 6/5 32機関 45名参加 テーマ：「つながる⇒広がる⇒つくる みんなでつながる大名刺交換会」 内容：事業所紹介・名刺交換会</p> <p>② 第2回 10/23 29機関 48名参加 テーマ：「精神障害を持つ人への新しいサービス」 内容：講演(講師：せんだんホスピタル 梁田英磨氏) 質疑応答</p> <p>③ 第3回 3/6 32機関 54名参加 テーマ：「重い障がいのある方の地域生活を支えるために」 内容：講演(講師：仙台往診クリニック 川島孝一郎氏) 当事者・支援者の事例報告</p> |
| 実施の成果 | ・ 全体会は、関係機関が一堂に会し、交流や情報交換及び研修の場として活気があり、参加者からの感想も概ね良好。定例会では、事例検討や勉強会を実施し、全体会の企画にも反映できた。 |
| 今後の課題 | <p>・ 障害者支援の関わる様々な関係機関・職種が更に繋がりをあえるように全体会議を位置づけ、大要を決めて年度計画を立案し、気軽に参加できるように内容を検討する。</p> <p>・ 相談支援事業者より、障害者相談支援システムにおけるネットワーク会議の位置づけや障害者自立支援協議会等との関係が不明瞭、課題をあげる連絡路がない等の声が寄せられている。</p> |

平成 21 年度地域生活支援ネットワーク会議 実施状況

平成 22 年 3 月現在 宮城野区障害高齢課

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>区内ネットワーク 会議の現状と課題</p> | <p>① 参加者の半数は初回参加者であり、グループワークやPRタイムを実施し顔の見える関係づくりはおおむね達成されている。</p> <p>② 地区民生児童委員連絡協議会に周知し、民生委員の参加が得られ、地域生活レベルでの情報や課題が提供された。</p> <p>③ 第一回、第二回全体会で共有された家族支援に関する課題について、第三回全大会で講師を招いて講話・グループワークを行った。</p> <p>④ 不足する社会資源のニーズについて、現実的なものに集約することはなかなか達成できない現状がある。</p> |
| <p>ネットワーク会議 実施のねらい</p> | <p>① 障害者ケアマネジメントの円滑な実施のため、必要時支援者がチームアプローチできるよう「顔の見える関係」を構築していく。</p> <p>② 不足する社会資源の改善・開発について提言していく役割を果たす。</p> <p>③ 地域の問題解決力の向上を図る。</p> |
| <p>今年度の実施目標</p> | <p>① 家族支援をテーマに、家族のエンパワメント、支援者のエンパワメントをめざす。</p> <p>② 困難ケースへの対応力を向上させる。</p> |
| <p>目標を達成するための具体的な取り組みの方針、戦略</p> | <p>1 年を通して家族支援のテーマで話し合い、グループワークによる問題の抽出・検討・スーパーバイザーによる助言を得ることで、より実践的な支援スキルの向上を目指した。</p> |
| <p>事務局体制</p> | <p>相談支援事業者(ハンズ宮城野、びあ☆はうす、宮城野雲母倶楽部+ら i ふ、きぼう園)、宮城野区社会福祉協議会、宮城野区障害高齢課</p> |
| <p>実施内容と 主な参加機関</p> | <p>【事務局会議】 回数：平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月まで おおむね月 1 回、計 13 回 場所：ハンズ宮城野</p> <p>【全体会】 第 1 回 日 時：平成 21 年 7 月 25 日（木） 15：00～17：00 テーマ：「一歩踏み込む家族支援を考える 今年みんなでパワーアップしよう！」 ～事例を通じて皆さんの経験から学んだことを語りませんか？～ グループワークにより実施、参加者 51 名</p> <p>第 2 回 日 時：平成 21 年 11 月 5 日（木） 15：00～17：00 テーマ：「もう一歩踏み込む家族支援を考える」 第一回全体会で抽出された課題別にグループワーク 参加者 54 名</p> <p>第 3 回 日 時：平成 22 年 2 月 25 日（木） 15：00～17：00 テーマ：講話「ケース支援と家族支援」 講師：はあとぼーと仙台 岡崎 茂 氏 講話とグループワークにより実施、参加者 45 名</p> <p>会 場：各回とも宮城県障害者福祉センター。 参加機関：高齢者及び障害者の支援機関及びサービス提供機関 約 230 機関に案内</p> |

平成 21 年度地域生活支援ネットワーク会議実施状況

平成 22 年 3 月現在 若林区障害高齢課

| | |
|--|---|
| <p>区ネットワーク 会議の現状と課題</p> | <p>【平成 21 年度実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の事業所から選出されたメンバーによる事務局会議を定期的に開催（月 1～2 回、年度内のスケジュールや実施内容の検討） 若林区内の事業所及び若林区民の支援に関わることが多い事業所・学校等による全体会を年 2 回開催 「勉強会」として、継続的なケース検討を年 3 回開催 若林区ネットワーク会議としての年間テーマ（『語ろう！創ろう！コミュニティ～いくつになっても安心して暮らせる地域づくり～』）は、前年度から継続 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題をどのように抽出し、社会資源の創出に結びつけるか。 障害分野に留まらない、地域づくりにどのように寄与できるか。 |
| <p>ネットワーク会議 実施のねらい</p> | <ul style="list-style-type: none"> 区内の障害者支援に関わる事業者同士が、交流を通じて相互理解を深め、日常の支援を円滑にするような関係作りを進める。 区内における、障害者支援に関する課題を見出し社会資源の創出に寄与する。 |
| <p>今年度の実施目標</p> | <p>① 全体会…年 2 回開催 ② 勉強会…事例検討会を年 3 回開催</p> |
| <p>目標達成のための 具体的な取り組み の方向性・戦略</p> | <p>① 定例の事務局会議にて、年間を通してのスケジュールや内容を検討する。ニュースレターで、全体会・勉強会の案内と結果報告を行う。</p> <p>② 全体会の対象事業所から事例を募集。提供事例からできるだけ普遍的なテーマに焦点を当て、年間を通して継続的に検討を行う。</p> |
| <p>事務局体制</p> | <p>10 名（区社協、ほわっと・わたげ、てれんこ、ピボット若林、ぴあら若林、区障害者福祉センター、ハンズ太白、市立病院、区障害高齢課）</p> <p>※ハンズ太白は平成 21 年度で若林区の事務局からは抜ける予定</p> |
| <p>実施内容と 主な参加機関</p> | <p>(1) 事務局会議（年 16 回） (2) ニュースレター発行（年 3 回） (3) 全体会</p> <p>【第 1 回】</p> <p>○日 時：平成 21 年 6 月 26 日（金）16:00～18:00 ○会 場：若林区役所 6 階ホール ○参加者：38 事業所，54 名 ○内 容：「知ってお得！若林の地域情報～住民・任意団体のサロン活動等をご紹介～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク会議についての説明 地域資源の紹介 発表者：グループレッツ・渡辺茂雄氏／若林区家庭健康課・佐藤和代氏 グループワーク・情報交換会 <p>【第 2 回】</p> <p>○日 時：平成 22 年 2 月 26 日（金）15:30～17:30 ○会 場：若林区中央市民センター別棟 第 3 会議室 ○参加者：28 事業所，56 名（うち民生委員 19 名）</p> |

○内 容：グループワーク

テーマ「つなごう地域のネットワーク～民生委員さんと地域をかたろう～」

(4) 勉強会

内容：一事例について、年間を通して継続的に検討する。グループワーク形式とする。

事例提供者：自閉症相談センター・西田有吾氏

【第1回】

○日 時：平成21年7月17日（金）16:00～17:30

○会 場：若林区中央市民センター セミナー室A・B

○参加者：8事業所，10名

【第2回】

○日 時：平成21年10月9日（金）16:00～17:30

○会 場：若林区中央市民センター セミナー室A・B

○参加者：23事業所，36名

【第3回】

○日 時：平成22年1月15日（金）16:00～17:30

○会 場：若林区中央市民センター セミナー室A・B

○参加者：17事業所，30名

平成 21 年度地域生活支援ネットワーク会議実施状況

平成 21 年度 (課名) 太白区障害高齢課

| | |
|--|--|
| <p>区ネットワーク 会議の現状と課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク全体会議：3回実施 参加延べ人員 162 名 ・地域づくりを意識し、個別の課題から地域の課題としての共有化やそれに対する問題解決に向けた話し合いを行ってきたが、社会資源の充実につながるより具体的な検討ができる場としていきたい。 |
| <p>ネットワーク会議 実施のねらい</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の充実と地域社会の資源化 |
| <p>今年度の実施目標</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを意識し、社会資源の再発見と仕組みづくりを行う。 テーマ「支援ネット De 地域づくり!？」 |
| <p>目標達成のための 具体的な取り組み の方向性・戦略</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・太白区を 4 つのエリアに分け、エリアごとにグループワークを行い、地域の課題の共有化やその問題解決に向けた方法を検討 ・参加者の継続参加への呼びかけ ・エリアごとに社会資源の情報を出し合い、地図にその情報を表示し共有を図る |
| <p>事務局体制</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・区障害高齢課各障害担当者及び地域生活支援事業所職員 (ハンズ太白、サポートはぎ、向日葵ライフサポートセンター、 びあら四郎丸、; 各 1 ~ 2 名) |
| <p>実施内容と 主な参加機関</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議 (年 12 回、延べ 155 名) <ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回 (平成 21 年 4 月 16 日) ○第 2 回 (平成 21 年 6 月 5 日) ○第 3 回 (平成 21 年 6 月 19 日) 平成 20 年度の振り返りと平成 21 年度の実施計画・体制 ○第 4 回 (平成 21 年 8 月 4 日) ○第 5 回 (平成 21 年 9 月 4 日) ○第 6 回 (平成 21 年 10 月 2 日) ○第 7 回 (平成 21 年 10 月 22 日) 平成 21 年度第 1 回開催に向けての準備会 ○第 8 回 (平成 21 年 11 月 17 日) 平成 21 年度第 1 回目の反省及び 2 回目開催に向けての準備会 ○第 9 回 (平成 21 年 12 月 8 日) ○第 10 回 (平成 22 年 1 月 12 日) 平成 21 年度第 2 回目の反省及び第 3 回開催に向けての準備会 ○第 11 回 (平成 22 年 2 月 4 日) 平成 21 年度第 3 回目及び全体の反省及び自立支援協議会視察に向けて話合 ○第 12 回 (平成 22 年 3 月 2 日) おまけのネットワーク会議に向けての準備会及び自立支援協議会視察報告 ・ネットワーク全体会議 <ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回 (平成 21 年 10 月 30 日開催、62 名参加) 話題提供「地域づくりの実践について」 話題提供者：ほっとネット in 東中田 代表 小岩孝子氏 グループワーク (エリア毎の社会資源の整理・地域の課題の抽出) ○第 2 回 (平成 21 年 12 月 1 日開催、47 名参加) グループワーク (地域の課題の抽出 (KJ 法利用)) ○第 3 回 (平成 22 年 1 月 19 日開催、53 名参加) グループワーク (課題解決の方法について検討・エリアごとに発表) ○おまけのネットワーク会議 3 月中旬に各支援センターを会場にエリアごとの会議実施予定 |

平成21年度地域生活支援ネットワーク会議実施状況

平成22年3月現在 泉区障害高齢課

| | |
|-------------------------|--|
| 区ネットワーク会議の現状と課題 | 21年度は事務局会議を月1回程度、全体会は年2回開催。事務局会議・全体会の活動をいかに周知し参加してもらうか、支援者間のネットワークをどのように障害当事者に還元し、社会資源を構築していくか、またネットワーク会議の位置づけの再確認が課題。 |
| ネットワーク会議実施のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ① 支援者の「顔の見える関係づくり」「障害当事者を通じた連携」により支援者がエンパワメントされる。 ② 泉区の課題を明確にし新たな社会資源の提言へつなげる。 |
| 今年度の実施目標 | <p>「地域との繋がり」を目標として設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 支援者相互の役割を知り、個々の持つネットワークを繋ぎ、障害当事者の支援に還元していく。 ② 地域で支援活動を行っている民生委員との繋がりをねらう。 |
| 目標達成のための具体的な取り組みの方向性・戦略 | <p>全体会では「地域との繋がり」を年間テーマとし、地域での生活支援についてグループワークなどを通して深めていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1回目全体会の企画では事前に当事者の方と打ち合わせ・意見交換を行い、全体会の趣旨ねらいをつめていった。 ② 2回目全体会は民生委員への周知を社協と連携して行なった。 |
| 事務局体制 | <ul style="list-style-type: none"> ① 事務局会議は3障害の相談支援事業所職員（ふらっと泉、ピース・スマイルなのはな、ソキウス）、特別支援学校教員、知的障害者通所施設職員、区役所職員等。 ② 月1回程度、必要に応じて開催。 <p>*事務局会議ではお互いの取り組み等について意見交換し、ネットワーク作りに役立っている。</p> |
| 実施内容と主な参加機関 | <ul style="list-style-type: none"> ① 全体会を年2回開催 <ul style="list-style-type: none"> 1回目：「地域との繋がり～地域のグループホーム・ケアホームで暮らす当事者の話を通して課題を考える～」参加61名 2回目：「地域との繋がり～地域で暮らす当事者とその家族への支援を通して課題を考える～」参加65名 <p>主な参加機関：相談支援事業所、障害者施設、特別支援学校、小・中学校、訪問看護ステーション、介護保険事業所、民生委員、ボランティア団体、区役所等</p> ② ネットワーク通信発行。ブログの開設 ③ よめごと会議を開催 <ul style="list-style-type: none"> 主に障害当事者支援に関わる従事者を対象に、情報交換・事例検討などを行っている。 ④ 先進地視察 堺市へ4名で実施 |

平成 21 年度連絡調整会議実施状況

平成 22 年 3 月現在 障害者更生相談所

| | |
|------------------|---|
| 実 施 目 的 | 障害者が快適に入浴できる選択肢を増やすために、社会資源開発・改善の取り組みを行う。また、こり取り組みが社会資源開発・改善のモデルとして他に波及させることも狙いとする。なお、「障害者の入浴検討プロジェクト」という呼称で実施。 |
| 今 年 度 実 施 目 標 | 障害者の入浴に関する社会資源の開発・改善を提案すること |
| 事 務 局 体 制 | 障害者更生相談所 |
| 参 加 機 関 | ①宮城野障害者生活支援センター ハンズ宮城野 ②地域生活支援センター宮城野 雲母倶楽部+らiふ ③当事者活動支援センター クリアリングハウス仙台 ④発達相談支援センター ⑤障害者支援課 ⑥障害者相談員 |
| 実 施 内 容 | <p>1 会議 次の日程で開催し、入浴に関する課題の共有、公的サービスの現状の確認、調査内容の決定と結果の共有等を行った。なお、別途グループ別の打ち合せも実施している。 (1)5月22日 (2)7月21日 (3)9月3日 (4)11月11日</p> <p>2 調査 入浴に関するニーズ、課題、資源について、次の調査を行った。 (1) 6月23日 障害者支援課との意見交換会 (2) 6月～7月 政令市に施設入浴サービスの状況について電話、文書で照会 (3) 7月16日 仙台市シルバーセンター入浴設備見学 (4) 7月31日 葉山地域交流プラザ入浴設備見学 (5) 8月 精神障害当事者アンケート実施(相談支援事業所経由) (6) 8月26日 身体障害当事者宅 実地調査 (7) 9月16日 身体障害当事者宅 実地調査 (8) 9月17日 身体障害当事者宅 実地調査 (9) 10月9日 スポパーク松森入浴設備見学</p> |
| 実 施 の 成 果 | <p>1 「みんなの入浴ガイド」素案の作成 入浴に関連する資源のわかりやすいガイドが必要との認識から、「みんなの入浴ガイド」の素案を作成した。 公的なサービスの情報から市内で入浴できる社会資源の情報までを網羅するものとなる予定。</p> <p>2 障害者福祉センターでの入浴サービス単独事業実施について検討 これまでの調査から、自宅浴室での入浴は困難であっても、居室内で臥位で入浴することへの拒否感等から訪問入浴を利用していない方が存在することを確認してきたところであるが、この解決のため、障害者福祉センターでの入浴サービス単独事業実施について検討した。</p> <p>3 精神障害当事者アンケート実施 相談支援事業所を經由した当事者アンケートに71件の回答を得た。生活圏内に自宅以外の低廉な入浴設備が存在することが入浴の機会を増やすために有効であることを確認した。</p> |
| 今 後 の 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなの入浴ガイド」の完成 ・ 身体障害者向け施設入浴サービスを提案し、予算要求を働きかける ・ これまでの取り組みについて報告書を作成 |

平成 21 年度連絡調整会議実施状況

平成 22 年 3 月現在 発達相談支援センター

| | |
|---------------------|--|
| <p>実施目的</p> | <p>「発達相談支援センター連絡会」 発達相談支援センターの業務運営等に関して関係各層の意見をきくことにより、発達障害者の地域生活支援体制の質の向上を図る。</p> |
| <p>今年度 実施目標</p> | <p>重度の知的障害を伴う自閉症者や医療的ケアを必要とする重症心身障害者など、障害の重い人たちの地域における自立した生活が可能となる体制の整備（住まいの場・生活支援体制・人材養成など）を具現化していく。</p> |
| <p>事務局体制</p> | <p>発達相談支援センター</p> |
| <p>参加機関</p> | <p>保護者：4名 学識経験者：1名 福祉関係者：2名 計7名の委員で構成 (行政機関1名がオブザーバーとして参加)</p> |
| <p>実施内容</p> | <p>発達相談支援センターの相談支援の状況やケアホームの実践から障害の重い人たちの地域生活における現状や課題について確認し、望まれるケアホーム整備や支援体制のあり方などについて意見交換を行った。</p> |
| <p>実施の成果</p> | <p>障害の重い人たちの自立をどう考えるかというテーマやケアホーム整備の阻害要因と解決の方向性のほか、ケアホームでの生活の実際とサポート体制、地域の関わりなどの課題、ケアホームの運営を巡っての人材の育成や確保の課題、バックアップ体制のあり方などの論点が整理された。</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p>自閉症者や医療的ケアを必要とする重症心身障害者など、それぞれの障害特性に応じた住まいの場や生活支援体制のあり方などを精査していく必要がある。</p> |

平成 21 年度連絡調整会議実施状況

平成 22 年 3 月現在 発達相談支援センター

| | |
|---------|--|
| 実施目的 | 「発達障害者支援センター連絡協議会」 発達障害者支援センターにおける発達障害児者に対する支援のあり方を検討するとともに地域支援体制の構築を図る。 |
| 今年度実施目標 | 発達障害児者と家族が地域で普通に暮らすための個々の状況やニーズに応じた地域での支援ネットワークのあり方を検証し、本人・家族の地域生活に対する新たな支援手法として評価を行っていく。 |
| 事務局体制 | 発達相談支援センター |
| 参加機関 | 保護者：2名 学識経験者：1名 福祉関係者：2名 教育関係者：2名 地域住民：1名 計8名の委員で構成 |
| 実施内容 | 発達相談支援センターにおけるモデル地区での取組みを報告しながら、本人・家族の個々のニーズに応じた一貫した支援を行っていくための関係機関や地域の支援者、地域住民とのネットワーク形成のあり方について意見交換を行った。 |
| 実施の成果 | 本人・家族の個々のニーズに則した支援のネットワークが従来の枠組みにとらわれることなく形成されることを実証し、発達障害児者と家族に対する新たな支援手法として位置づけていくなど今後の目標や取組みの方向性が確認された。 |
| 今後の課題 | 地域における支援ネットワークを形成していく際の本人・家族、関係機関や地域の支援者、地域住民の役割を明確化し、成果を普及していくことが今後の課題である。 |

平成 21 年度連絡調整会議実施状況

平成 22 年 3 月現在 仙台市精神障害者退院促進支援事業 実施委員会

| | |
|---------------------|---|
| <p>実施目的</p> | <p>仙台市精神障害者退院促進支援事業実施要綱第 5 条に基づき、精神科病院に入院している精神障害者のうち「受入条件が整えば退院可能な者」に対する退院促進支援事業を円滑に行うため、精神保健医療福祉分野の専門職員等により構成し、事業利用者決定に関することに加えて、事業の具体的な実施に対するスーパービジョン等を行う。</p> |
| <p>今年度 実施目標</p> | <p>実施回数は、年間 5 回程度。 当事業の申込状況等に合わせて実施し、目的を達成する。</p> |
| <p>事務局体制</p> | <p>精神保健福祉総合センター</p> |
| <p>参加機関</p> | <p>共同生活援助(グループホーム) 障害者相談支援事業所 障害者小規模地域活動センター 精神障害者生活訓練施設 居宅介護・生活サポート事業所 精神科病院 精神科診療所 区保健福祉センター障害高齢課 健康福祉局障害者支援課</p> |
| <p>実施内容</p> | <p>今年度は 4 回実施。 利用者の決定に関すること（新規 1 件 終了 5 件）と、支援経過報告及び検討（概ね 6 ヶ月毎 13 件）を通じて、必要な情報の提供や提言があった。また、その他退院促進支援事業の実施にあたり必要な助言、協力を受けた。</p> |
| <p>実施の成果</p> | <p>退院促進支援事業の利用者に関する決定を行い、また、個別支援に対して具体的にさまざまな社会資源を担う立場・視点から利用者への支援に関する助言を行った。</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p>退院促進支援事業全体として、地域移行の支援体制及び退院後の地域サポート体制をどのように整えるかという課題がある。 精神保健医療福祉分野の専門職から構成されている実施委員会においても、個別支援の検討・助言に留まらず、広く退院促進支援及び地域支援のネットワーク等の実施における課題の検討及び提言に関することを充実させ、生かしてゆくことが課題である。</p> |